Amundi
Investment Solutions

ワールド・バリュー・アロケーション
Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／内外／株式

お客様向け資料
月次レポート



良好な運用実績が評価され、「R&Iファンド大賞」を4年連続で受賞

- ワールド・バリュー・アロケーション Bコース（為替ヘッジなし）は、「R&Iファンド大賞」を4年連続で受賞しました。
- 「投資信託10年」部門での受賞となりました。
- 受賞は、運用実績等が評価されたものです。今後も良好なパフォーマンスを目指し運用を行ってまいります。



R&I ファンド大賞2023 「投資信託10年／外国株式バリュー」部門	R&I ファンド大賞2024 「投資信託10年／外国株式バリュー」部門	R&I ファンド大賞2025 「投資信託10年／外国株式バリュー」部門	R&I ファンド大賞2026 「投資信託10年／外国株式バリュー」部門
最優秀賞　受賞	優秀賞　受賞	優秀賞　受賞	優秀賞　受賞

部門	カテゴリー	ファンド名
投資信託 10 年	外国株式 バリュー	ワールド・バリュー・アロケーション B コース （為替ヘッジなし）

「R＆Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR＆Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第２９９条第１項第２８号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR＆Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

「投資信託部門」は過去3年間、「投資信託10年部門」は過去10年間、「投資信託20年部門」は過去20年間を選考期間としています。選考に際してはシャープレシオ*1によるランキングに基づき、最大ドローダウン*2、償還予定日までの期間、残高の規模等を加味したうえで選出しています。選考対象は国内籍公募追加型株式投信とし、確定拠出年金専用およびSMA・ラップ口座専用は除きます。評価基準日は2026年3月31日です。上記評価は、過去の一定情報を分析した結果得られたものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

*1シャープレシオとは短期確定金利商品に対するファンドの超過収益率を収益率の標準偏差（リスク）で割った値です。リスク1単位当たりの超過収益率を示します。
*2 ドローダウンとは、最大資産からの下落率のことであり、それらのドローダウンの最大となった値を最大ドローダウンといいます。

Amundi
Investment Solutions

ワールド・バリュー・アロケーション
Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／内外／株式

お客様向け資料
月次レポート

月次レポート 2026年10月30日



主に割安と判断される世界の株式等に実質的に投資し、米ドルベースで相場環境にかかわらず
プラスのリターンを追求することで、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。

割安度分析	「金※」による リスク・コントロール	備えの キャッシュ比率
企業の本源的価値を算出しその価値に比べて株価が十分に割安になっている銘柄にのみ投資。	金融市場の混乱等不測の事態に対するヘッジ手段として投資。	突然訪れる好機を逃さないための現金活用。

※ ワールド・バリュー・アロケーションの主要投資対象ファンド「ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド（以下、ファースト・イーグルAIF）」では、金関連株式等に投資します。

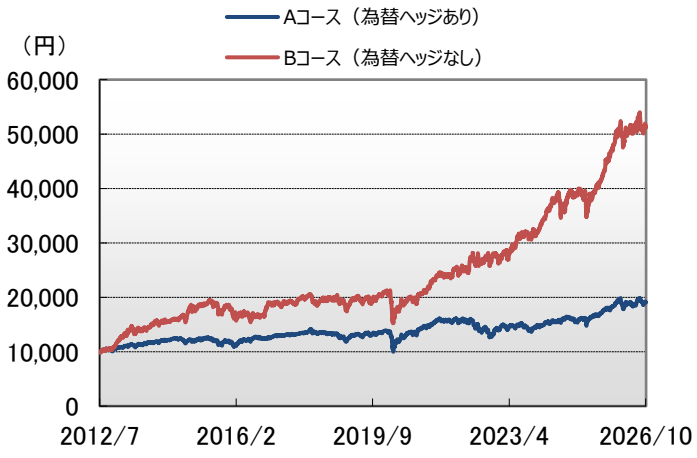
資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

お客様の投資スタイルに合わせて選べる2つのコース

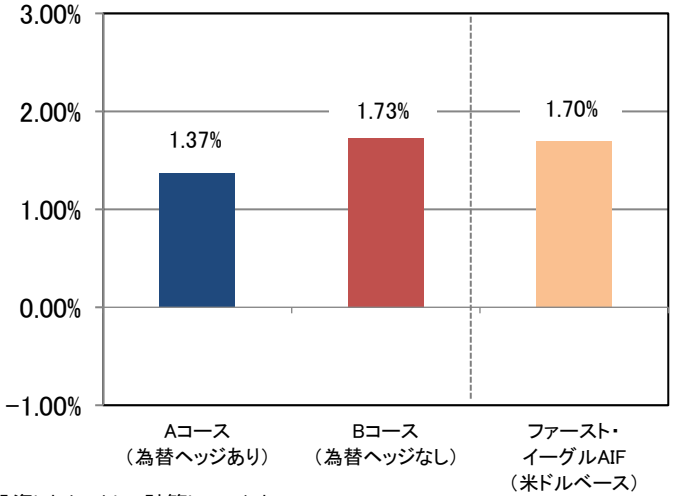
為替ヘッジを行うAコース、為替ヘッジを行わないBコースがあります。

基準価額（税引前分配金再投資）の推移

（期間：設定日（2012年7月20日）から上記基準日まで、日次）



各コースの当月の月間騰落率



・基準価額（税引前分配金再投資）と騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。
・基準価額は信託報酬控除後です。
・騰落率はファンドの騰落率であり、実際の投資家利回りと異なります。ファースト・イーグルAIFの騰落率の基準日は、ワールド・バリュー・アロケーションの基準日の1日前（土日除く）です。ただし、ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンドの休業日の関係で当該騰落率の基準日は変動する場合があります。

Amundi Investment Solutions

ワールド・バリュー・アロケーション
Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

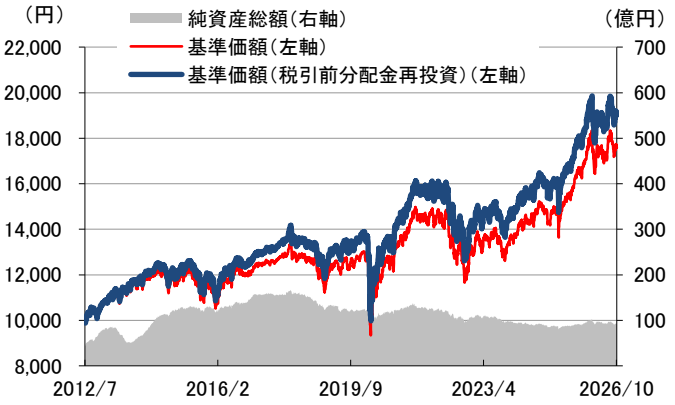
追加型投信／内外／株式

お客様向け資料
月次レポート

2026年10月30日 現在

Aコース（為替ヘッジあり）

基準価額の推移



※基準価額（税引前分配金再投資）は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬については、後記の「ファンドの費用」をご覧ください。
・上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

騰落率

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.37%	0.69%	2.38%	6.55%	38.64%	90.25%

・騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。ファンドの騰落率であり、実際の投資家利回りとは異なります。
・上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

ファンドの概況

基準価額（円）	17,581
純資産総額（億円）	91.97
設定日	2012年7月20日
決算日	原則、6月、12月の各5日 （休日の場合は翌営業日）

内訳	比率
ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド	99.18%
CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）	0.11%

分配実績（1万口当たり、税引前） 直近3年分

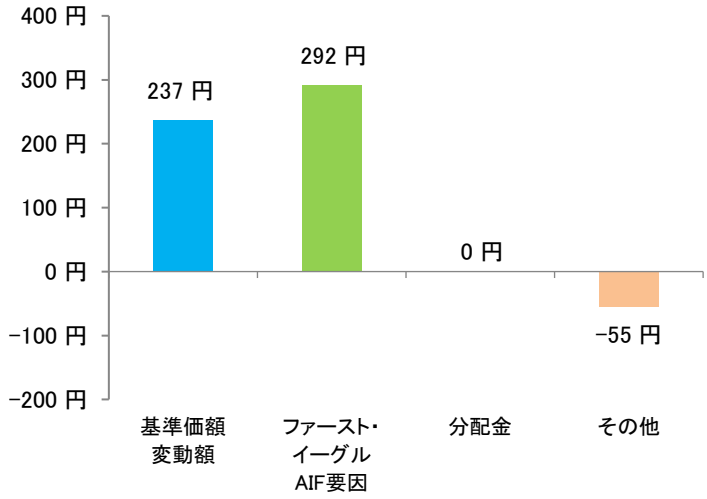
設定来累計			980円
2023年12月5日	0円	2025年6月5日	0円
2024年6月5日	0円	2025年12月5日	0円
2024年12月5日	0円	2026年6月5日	0円

・分配金は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。
・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

（ご参考） 基準価額の変動要因

期間	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
比較基準日	2026/9/30	2026/7/31	2026/4/30	2025/10/31	2023/10/31	2012/7/20
比較基準日の基準価額	17,344 円	17,460 円	17,173 円	16,500 円	12,681 円	10,000 円
比較基準日から当月末までの基準価額の変動額	237 円	121 円	408 円	1,081 円	4,900 円	7,581 円
ファースト・イーグルAIF要因	292 円	283 円	733 円	1,773 円	7,274 円	14,437 円
分配金	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	-980 円
その他	-55 円	-162 円	-325 円	-692 円	-2,374 円	-5,876 円

＜当月の基準価額の変動要因＞



＜当月の変動要因（コメント）＞

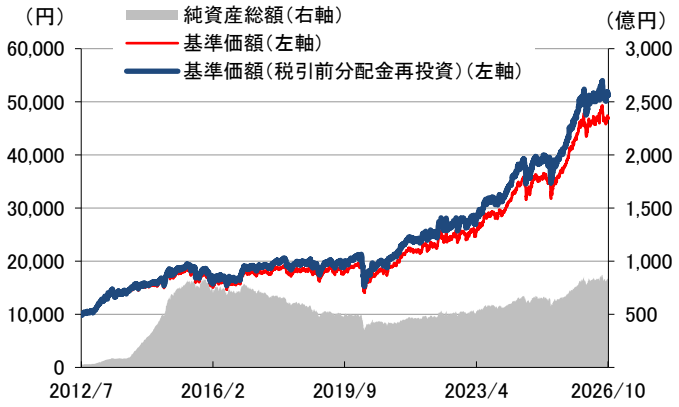
● 当月の基準価額変動におけるファースト・イーグルAIF要因はプラスの寄与となりました。内訳は米国株式のプラス寄与度が相対的に高くなりました。

・基準価額は信託報酬控除後です。
・設定日の基準価額は当初設定価額です。
・その他要因は、信託報酬、その他の誤差を含みます。
・各要因の円未満は四捨五入している関係で、合計が一致しない場合があります。
・上記の変動要因は概算値であり、実際の基準価額の変動額を正確に説明するものではありません。
傾向を把握するための参考値としてご覧ください。

2026年10月30日 現在

Bコース（為替ヘッジなし）

基準価額の推移



※基準価額（税引前分配金再投資）は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬については、後記の「ファンドの費用」をご覧ください。
・上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

ファンドの概況

基準価額（円）	46,835
純資産総額（億円）	824.20
設定日	2012年7月20日
決算日	原則、6月、12月の各5日 （休日の場合は翌営業日）

内訳	比率
ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド	99.39%
CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）	0.09%

ファンドおよび米ドル/円（ご参考）の騰落率

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.73%	−0.56%	2.09%	12.53%	67.01%	412.39%
米ドル/円	0.12%	−1.98%	−1.78%	2.23%	5.37%	100.03%

・騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。ファンドの騰落率であり、実際の投資家利回りとは異なります。
・上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。
・米ドル/円の騰落率は、対顧客直物電信売買相場の仲値におけるものです。

分配実績（1万口当たり、税引前） 直近3年分

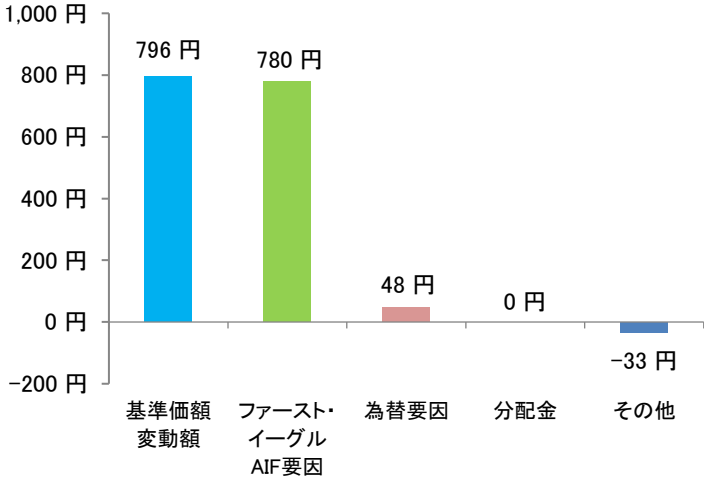
設定来累計			1,550円
2023年12月5日	0円	2025年6月5日	0円
2024年6月5日	0円	2025年12月5日	0円
2024年12月5日	0円	2026年6月5日	0円

・分配金は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。
・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

（ご参考） 基準価額の変動要因

期間	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
比較基準日	2026/9/30	2026/7/31	2026/4/30	2025/10/31	2023/10/31	2012/7/20
比較基準日の基準価額	46,039 円	47,101 円	45,877 円	41,619 円	28,044 円	10,000 円
比較基準日から当月末までの基準価額の変動額	796 円	−266 円	958 円	5,216 円	18,791 円	36,835 円
ファースト・イーグルAIF要因	780 円	808 円	2,045 円	4,726 円	17,598 円	26,987 円
為替要因	48 円	−940 円	−826 円	965 円	2,389 円	14,597 円
分配金	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	−1,550 円
その他	−33 円	−134 円	−261 円	−476 円	−1,196 円	−3,199 円

＜当月の基準価額の変動要因＞



＜当月の変動要因（コメント）＞

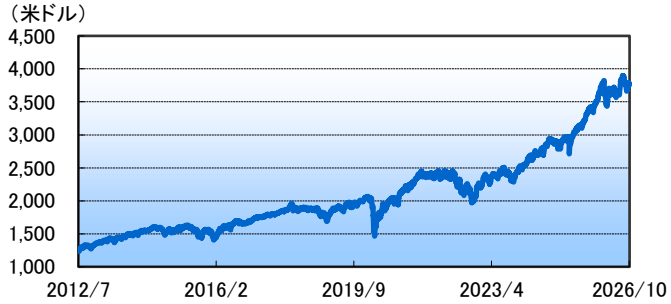
- 当月の基準価額変動におけるファースト・イーグルAIF要因はプラスの寄与となりました。内訳は米国株式のプラス寄与度が相対的に高くなりました。
- 当月の基準価額変動における為替要因は、円安・米ドル高を受けてプラス寄与となりました。

・基準価額は信託報酬控除後です。
・設定日の基準価額は当初設定価額です。
・その他要因は、信託報酬、その他の誤差を含みます。
・各要因の円未満は四捨五入している関係で、合計が一致しない場合があります。
・上記の変動要因は概算値であり、実際の基準価額の変動額を正確に説明するものではありません。
傾向を把握するための参考値としてご覧ください。

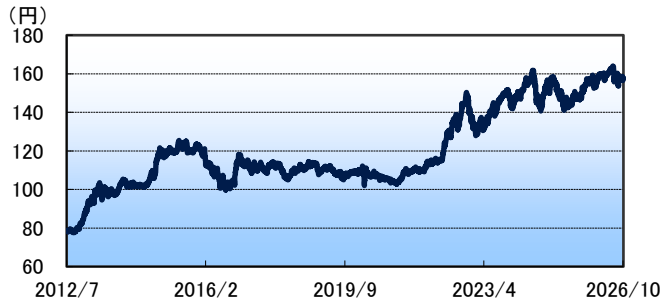
2026年10月30日 現在

「ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド」の運用状況

ファンド価格の推移



《ご参考》 為替レートの推移 （米ドル／円）

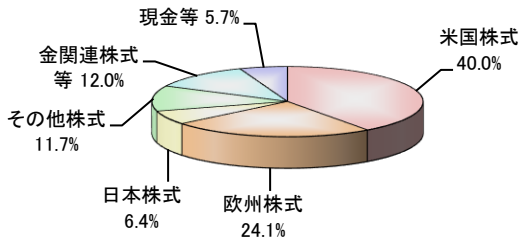


騰落率（米ドルベース）

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.70%	1.66%	4.41%	11.15%	63.51%	196.81%

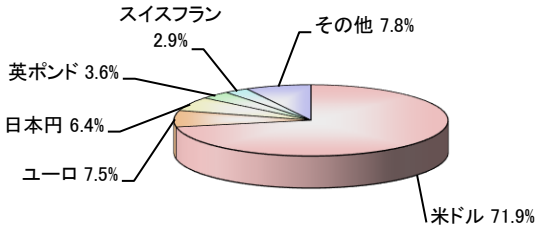
・ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンドの騰落率の基準日は、ワールド・バリュー・アロケーションの基準日の1日前（土日除く）です。ただし、ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンドの休業日の関係で当該騰落率の基準日は変動する場合があります。
・設定来の騰落率は、ワールド・バリュー・アロケーションが設定された2012年7月20日を基準としています。
・ファンド価格の推移および騰落率は、ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンドの過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。

資産別比率



・比率は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
・比率は、ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンドの純資産総額に対する評価金額の割合です。
・金ETCは金関連株式等に含まれます。
・現金等には短期国債等を含む場合があります。
・上記データは、ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンドの月末時点のデータです。

通貨別比率



・比率は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
・比率は、ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンドの純資産総額に対する評価金額の割合です。
・上記データは、ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンドの月末時点のデータです。

組入株式上位10銘柄

組入銘柄数 ： 132銘柄

	銘柄名	国名	比率	概要
1	Amundi Physical Gold ETC	フランス	5.00%	金ETC（Exchange Traded Commodity）。金の現物を担保とする上場債券。金現物取引価格との連動を目指す。
2	シェル	英国	3.11%	70カ国以上の国々に進出しているグローバルなエネルギーおよび石油化学企業グループ。石油・天然ガスの他、化学製品、再生可能エネルギー等も手掛けている。
3	ベクトン・ディッキンソン	米国	2.43%	グローバルに事業を展開する医療技術企業。技術やサービスの提供および顧客との緊密なコミュニケーションを通じて医療に携わる人々を支援。
4	アルファベット	米国	2.04%	持株会社。子会社を通じ、ウェブベースの検索、広告、地図、ソフトウエア・アプリケーション、消費者コンテンツ、業務用ソリューション、eコマース、ハードウエア製品等を提供する。
5	サムスン電子	韓国	1.82%	スマートフォンやTVなどの電子製品、メモリ半導体で世界をけん引。世界中に製造拠点、営業所を持つ。人材と技術をもとに最高の製品とサービスを創出することを目指す。
6	メタ・プラットフォームズ	米国	1.81%	ソーシャルネットワーク・ウェブサイトの運営会社。ユーザー間における情報等の共有や事業の成長を支援するアプリケーションおよび技術を構築する。広告、仮想現実も手掛ける。
7	iシェアーズ・フィジカル・ゴールドETC	英国	1.68%	金ETC（Exchange Traded Commodity）。金の現物を担保とする上場債券。金現物取引価格との連動を目指す。
8	Xトラッカーズ・フィジカル・ゴールドETC	英国	1.67%	金ETC（Exchange Traded Commodity）。金の現物を担保とする上場債券。金現物取引価格との連動を目指す。
9	ワークデイ	米国	1.61%	人事や財務などをシステム化し、企業の意思決定を支援し、業務の効率化に資するシステムを提供。企業のみならず公的機関でも導入されている。
10	エレバンス・ヘルス	米国	1.60%	米大手医療保険会社。提携するヘルスケアプランを通じて、生命保険や傷害保険、介護保険、歯科、眼科などの医療保険・専門保険や、関連する商品・サービスを幅広く提供。

・比率は、ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンドの純資産総額に対する評価金額の割合です。
・上記データは、ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンドの月末時点のデータです。

2026年10月30日 現在

「ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド」 ファンド・マネージャーコメント

【市場動向】

10月の主要株式市場は、AI（人工知能）・半導体関連株の調整が目立ち、総じて方向感に欠ける展開となりました。米国市場は月前半に過去最高値を更新したものの、その後は主要テクノロジー株の決算やAI投資をめぐる懸念が重荷となる中、ディフェンシブ銘柄が選好されました。欧州市場は、月上旬は財政不安や金利の高止まりが上値を抑えましたが、下旬は個別決算を手掛かりとした物色が入りました。10月の日本市場は下落しました。月前半は、AI・半導体関連株を中心に上昇しましたが、中旬はAI投資をめぐる懸念や、中東情勢緊迫化による原油価格の上昇などを受け調整色を強めました。下旬は一時持ち直す場面もありましたが、月末にかけてはAI過剰投資への懸念が再燃したことや、原油高を背景としたインフレ懸念、欧州の政治不安を受けた金利上昇などが嫌気され、下落しました。その他の地域では、アジア・太平洋市場では、オーストラリアを除き下落基調となりました。特に韓国の下落率が大きくなりました。新興国市場ではインドは上昇しましたが、ブラジル、ベトナムは下落しました。

10月の米ドル／円相場は上昇しました。米国の長期国債利回りは低下し、商品市場では金価格は下落しました。

【運用状況】

当月のファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンドは、上昇（米ドルベース）しました。株式の寄与はプラスとなり、国・地域別では米国、セクター別ではエネルギー、ヘルスケア、生活必需品のプラス寄与が相対的に高くなりました。金関連資産はややマイナスに寄与しました。当月のファンドのパフォーマンスにプラスに寄与した保有銘柄はシェル、ダッソー・システムズ、ベクトン・ディッキンソン、HCAヘルスケア、メドトロニックなどでした。一方、マイナスに寄与した銘柄はアルファベット、メタ・プラットフォームズ、サムスン電子、金ETC、SMCなどでした。

【今後の運用方針】

主要中央銀行の政策やインフレおよび経済動向に加えて、地政学的リスク、原油価格の動向、AI関連テーマにまつわるリスク等が今後の懸念材料として挙げられます。私たちは下方リスクに対するヘッジポジションとしての金関連資産の保有を含め、引き続き規律ある慎重な運用を心掛けます。

最も深刻な投資のリスクは投資元本の永続的な毀損であり、そのリスクの主たる源泉は割高な証券への投資であると考えます。私たちは、予期せぬ事態が生じても、回復不可能な損失を回避できるよう、十分に割安な水準で投資することを重視し、個別銘柄の株価が私たちの考える本源的価値を十分に下回る場合にのみ、投資します。十分に割安と判断できる投資機会が限られる局面では、無理に投資せずに現金等を保持します。現金等は個別銘柄単位で十分に割安と判断できる投資機会を特定した段階で、投資資金に充当するものと位置付けています。また、予期せぬリスクに対するヘッジ手段、および中長期的に資産の実質的価値の維持を目指す手段として、金関連資産を一定比率保有し続ける方針です。

引き続き、短期的な市場動向や市場予測に頼るのではなく、ボトムアップによる銘柄選択を通じて競争力を持続できるような質の高い事業や希少な資産を有すると考えられる企業に分散投資することで、米ドルベースで相場環境にかかわらずプラスのリターンを追求し、投資信託財産の長期的な成長を目指した運用を継続する方針です。

ファンドの目的

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国の株式等へ実質的に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

「ワールド・バリュー・アロケーション Aコース（為替ヘッジあり）」、「ワールド・バリュー・アロケーション Bコース（為替ヘッジなし）」を、それぞれ「Aコース」または「ワールドバリューA」、「Bコース」または「ワールドバリューB」と略す場合があります。

ファンドの特色

① 米国有数の独立系運用会社ファーストイーグルインベストメントマネジメント社（以下、ファースト・イーグル・インベストメンツ）が運用する「ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド（以下、ファースト・イーグルAIF ）」へ主に投資します。

- 米ドル建のルクセンブルク籍の会社型投資信託「ファースト・イーグルAIF」と円建の国内籍の投資信託である「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」を主要投資対象とします。世界の株式等への投資は「ファースト・イーグルAIF」を通じて行います。
- 「ファースト・イーグルAIF 」の運用は、ファースト・イーグル・インベストメンツのグローバル・バリュー・チームが行います。

② 主に割安と判断される世界の株式等に実質的に投資し、米ドルベースで相場環境にかかわらずプラスのリターンを追求することで、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。

- 世界各国（エマージング地域にも投資することがあります。）の株式を対象として、ボトムアップ方式により個別銘柄の調査を行い、PBR等の伝統的なバリュエーション分析のほか、フリーキャッシュフロー等、様々な分析を加え、財務内容を徹底的に分析します。
- 分析の結果、十分に割安で魅力的であると判断した銘柄でポートフォリオを構築します。
- 特定の株価指数にとらわれない運用を行うため、ベンチマークを設定しておりません。
- 「ファースト・イーグルAIF」において、米ドルベースでのパフォーマンスを向上させるために、現地通貨売り／米ドル買いの為替取引を行うことがあります。

③ 原則として円ベースでの為替ヘッジを行うAコース、行わないBコースの間で無手数料でスイッチング※が可能です。

- Aコースにおいては、米ドル建の「ファースト・イーグルAIF」に対して原則として米ドル売り／円買いの為替ヘッジを行うことにより、米ドルと円の為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
- スイッチングの際には、換金時と同様に、税金がかかりますのでご注意ください。

※ AコースまたはBコースを換金した場合の手取金をもって、その換金の申込受付日に、もう一方のファンドの購入の申込みを行うことをいいます。

◆資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。◆

収益分配金に関する留意事項

●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
●分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

投資リスク

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国の株式など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります。）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません。**ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割り込むことがあります。**ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。
基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、流動性リスク、カントリーリスク、為替変動リスク、金利変動リスク、信用リスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因（投資リスク）は、これらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還、流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

《当資料のお取扱いについてのご注意》

■当資料は、法定目論見書の補足資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成した販売用資料であり、法令等に基づく開示資料ではありません。■当ファンドの購入のお申込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、お受取りの上、内容は投資信託説明書（交付目論見書）で必ずご確認ください。なお、投資に関する最終決定は、ご自身でご判断ください。■当資料は、弊社が信頼する情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性について弊社が保証するものではありません。また、記載されている内容は、予告なしに変更される場合があります。■当資料に記載されている事項につきましては、作成時点または過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。■投資信託は、元本および分配金が保証されている商品ではありません。■投資信託は値動きのある証券等に投資します。組入れた証券等の値下がり、それらの発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により損失を被ることがあります。したがって、これら運用により投資信託に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属いたします。■投資信託は預金、保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。■投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

NOMURA 野村證券

商　号　等：野村證券株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第142号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人資産運用業協会、
一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、
一般社団法人日本STO協会

設定・運用は

Amundi Investment Solutions

商　号　等：アムンディ・ジャパン株式会社（金融商品取引業者）
登録番号　関東財務局長（金商）第350号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会、
日本証券業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

お申込みメモ

購入単位	各申込コースの購入単位は以下の通りです。 一般コース：1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 自動けいぞく投資コース：1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 詳しくは販売会社にお問合せください。（購入後のコース変更はできません。）
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	原則として購入申込受付日から起算して7営業日目までにお申込みの販売会社にお支払いください。
換金単位	各申込コースの換金単位は以下の通りです。 一般コース：1口単位または1円単位、自動けいぞく投資コース：1口単位または1円単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目以降にお支払いします。
購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークもしくはルクセンブルクの銀行休業日のいずれかに該当する場合、または12月24日である場合は、スイッチングを含め受付けません。
申込締切時間	詳しくは販売会社にお問合せください。
換金制限	1日1件3億円を超える換金のお申込みは受付けません。また投資信託財産の効率的な運用が妨げられると委託会社が合理的に判断する場合、諸事情により金融商品市場等が閉鎖された場合等一定の場合に換金の制限がかかる場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	委託会社は、金融商品市場における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の申込受付を中止すること、および既に受付けた購入・換金の申込受付を取消すことができます。
信託期間	2012年7月20日（設定日）から無期限とします。
決算日	年2回決算、原則毎年6月5日および12月5日です。休業日の場合は翌営業日とします。
収益分配	年2回。毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。「自動けいぞく投資コース」は税引後無手数料で再投資されます。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取り扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問合せください。 配当控除および益金不算入制度は適用されません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。有価証券届出書作成日現在の料率上限は、**3.3%（税抜3.0%）**です。
信託財産留保額	ありません。

投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 （信託報酬）	信託報酬の総額は、投資信託財産の純資産総額に対し**年率0.858%（税抜0.78%）**を乗じて得た金額とし、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用計上され、ファンドの基準価額に反映されます。 毎計算期間末または信託終了のときに、投資信託財産中から支弁します。 また、実質的な負担の上限は、純資産総額に対して**年率1.858%（税込）**です。 ファンドの信託報酬率0.858%（年率・税込）に主要投資対象とする投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの（「ファースト・イーグルAIF」年率1.0%（上限）※）を加算しております。実際の信託報酬の合計額は主要投資対象とする投資信託証券の組入状況、運用状況によって変動します。 ※この他に、「ファースト・イーグルAIF」においては成功報酬がかかりますが、運用状況によって変動するためその合計額は記載しておりません。 ●「ファースト・イーグルAIF」の成功報酬について 成功報酬算定期間（毎年3月1日から翌年2月末日まで）において、「ファースト・イーグルAIF」の基準価額（当該日の成功報酬計算前）の収益率が、**SOFR（担保付翌日物調達金利）＋4.3%（年率）を上回った場合に、当該超過分に対して15%**の成功報酬がかかります。成功報酬は、日々計上（再計算）されます（値下がりの場合は戻し入れされます）。
その他の費用・ 手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用（監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。） ・投資信託財産に関する租税　等 ※その他、「ファースト・イーグルAIF」においてはルクセンブルクの年次税（年率0.01%）などの諸費用がかかります。 **※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。**

◆各ファンドの費用の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

◆ファンドの費用については、有価証券届出書作成日現在の情報であり、今後変更される場合があります。

委託会社、その他の関係法人の概要

委託会社	アムンディ・ジャパン株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	野村證券株式会社
ファンドに関する 照会先	委託会社の名称：アムンディ・ジャパン株式会社 お客様サポートライン：050-4561-2500 受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで ホームページアドレス：https://www.amundi.co.jp/